

委託事業者による個人情報の流出の可能性について

水道管路の情報を管理している「水道施設管理システム（マッピングシステム）」の委託事業者である水道マッピングシステム(株)から、不正アクセスによりサーバーに保管されている奈良市企業局の情報が一時的に閲覧可能であったとの報告を受けました。

記

1 経緯

・7月17日（水）

委託事業者の水道マッピングシステム(株)の報告により、東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)のネットワークに対し、不正アクセスによりサーバーに保管されている奈良市企業局の情報が一時的に閲覧可能であり、情報流出の可能性が判明

・7月18日（木）

「委託事業者による個人情報の流出の可能性について」の報道発表、企業局ホームページへの公開を実施

・7月19日（金）

委託事業者の調査・報告により、情報流出の可能性のある情報は、水道管の位置などを管理する水道施設管理システムを拡張した際に使用した一部給水区域の水栓情報であることが判明

・7月20日（土）

7月19日に委託事業者から受けた報告内容について、企業局において対象の情報を精査し、内容を確認

・7月22日（月）

「委託事業者による個人情報の流出の可能性について（第2報）」の報道発表、企業局ホームページへの公開を実施

2 対象の情報

- | | |
|------------|--------------------------------|
| (1) データの種類 | 水道施設管理システム拡張の際に使用した一部給水区域の水栓情報 |
| (2) 件数 | 2,959件 |
| (3) データ項目 | 水栓番号、使用者名、住所、電話番号 他 |
| (4) 年度 | 平成21年度 |

※現在、水道施設管理システムの拡張は完了していることから、データの受け渡しは行っていませんが、平成 21 年度当時は拡張作業を委託していたため、一部給水区域の水栓情報を委託先に渡したものであります。

3 委託事業者の対応状況

- ・6月25日(火)夜に東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)(以下、「TGES」とう。)サーバーで異常を検知
- ・6月26日(水)にネットワークへの不正アクセスが判明したため、外部との接続を遮断
- ・個人情報保護委員会へ報告並びに警視庁や独立行政法人情報処理推進機構(IPA)をはじめとした外部の専門機関の協力も得て調査を開始
- ・現時点では、TGESが顧客情報を保管するファイルサーバーにアクセスされた形跡は見つからない、また個人情報の不正利用等は確認されていない

4 原因

過去の作業終了時に消去を失念していたものとの報告を受けております。

5 今後の対応

情報の流出が確認されたお客様への連絡等については、水道マッピングシステム(株)と連携して速やかに進めてまいります。

水道マッピングシステム(株)から今回の一連の経緯について詳細な報告を受けるとともに、開発終了時に適切にデータが消去されなかった原因究明を求めています。その上で、再発防止に向けた必要な対策を検討していきます。